

分析結果報告書〔2〕 1 / 2

1.2 廃棄物試料(鉛)

機関コード	
機関名	
電話番号	
国際的な認証等の取得(複数回答可)	1. ISO 9001-9003 2. ISO 14001 3. ISO/IEC 17025(ガ1725) 4. MLAP 5. 環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格
分析主担当者名	
分析主担当者の経験年数	()年
分析主担当者の実績(年間の分析試料数)	()

回数	分析結果(mg/kg) 注1)	
	検出下限値以上 注2)	検出下限値未満での検出下限値 注3)
1回目		
2回目		
3回目		

注1) 一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意する。

注2) 3回の分析結果を有効数字3桁で記入する。

注3) 有効数字1桁で記入する。

分析開始月日	月 日
分析終了月日	月 日

分析方法	1. フルム原子吸光法 2. 電気加熱原子吸光法 3. ICP発光分光分析法 4. ICP質量分析法 5. その他()
------	---

< 試験溶液の調製 >

試料量	()g
試験溶液の調製に用いた酸の量 注4)	硝酸 ()ml 塩酸 ()ml 過塩素酸 ()ml
試験溶液の量(定容量)	()ml

注4) 使用しない酸の量は「0」と記入する。

< 溶媒抽出 >

溶媒抽出	1. 実施する 2. 実施しない
試験溶液の分取量	()ml
溶媒の種類 抽出回数 溶媒の使用量	1. 酢酸ブチル 2. MIBK 3. キルソ 4. その他() ()回 ()ml/回
最終の定容量	()ml
最終溶液の液性	1. 硝酸酸性 2. 塩酸酸性 3. 有機溶媒 4. その他()

分析結果報告書〔 2 〕 2 / 2

< 原子吸光法 >

フレーム法 試験溶液の希釈 (希釈倍率)	1. 希釈しない(希釈倍率 = 1) 2. 希釈する 希釈倍率()
電気加熱法 注入量 注入の方法 原子化の方法 珪酸の添加	() μl 1. 自動注入装置 2. 手打ち 1. 黒鉛炉 2. 耐熱金属炉 3. その他() 1. 添加しない 2. Pdを添加 3. Pd以外の添加
原子吸光分析装置 波長補正 測定波長	1. 行わない 2. 重水素ラジウム 3. 偏光ビーム 4. その他() () nm

< ICP発光分光分析法 >

試験溶液の希釈 (希釈倍率)	1. 希釈しない(希釈倍率 = 1) 2. 希釈する 希釈倍率()
ICP発光分光分析装置 装置の型式 波長補正 超音波ライターの使用 測定時間 測定波長	1. 波長走査(シークン) 2. 波長固定(マルチ) 3. その他() 1. 行う 2. 行わない 1. 使用しない 2. 使用する () 秒 () nm

< ICP質量分析法 >

使用した水	1. 蒸留水 2. イオン交換水 3. 超純水 4. その他()
積分時間(質量数毎)	() 秒
質量数	()

< 検量線の作成等 >

定量方法 方法 内標準法: 内標準物質の種類	1. 絶対検量線法 2. 標準添加法 3. 内標準法 1. イットリウム 2. インジウム 3. タリウム 4. ビスマス 5. その他()
検量線 作成点数 作成範囲 最高濃度の指示値	() 最小() mg/l ~ 最大() mg/l 注5) ()
試料の指示値	()
空試験の指示値	()

注5) 分析装置で測定する溶液中の濃度(mg/l)を示す。

分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点	
--------------------------	--

計算式	
-----	--